2016年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話(23)2827
振込口座 01930-2-20748
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1−7 電話(21)0505

児童養護施設で働くということ

児童養護施設
岡田豊弘

栄光園に入職し15年が経とうとしています。私にとって15年は大きな節目でもあり、私自身を振り返る意味でペンをとった次第です。

私は大学で学校教育を学びました。将来は、教師の道を進む人がほとんどの時代です。しかし、私は現在、児童福祉の現場にいます。大学在学中、児童相談所の一時保護所でのアルバイトを経験し、そこでさまざまな家庭事情により、親、家族と分離され、一時保護所で保護されている子どもたちと接したことで自分の将来が決まったというわけです。当時は就職超氷河期であり、諦めてはいましたが、神様からの思し召しでしょうか。当時住んでいた学生アパートの郵便受けのポストに1通の求人ハガキを見つけたのです。差出は栄光園からでした。私はすぐに電話をかけ、面接をして頂けることになり、内定のはこびとなったのです。その当時の喜びは今でもはっきり覚えています。

栄光園での1年目はとにかく無我夢中でした。担当の子どもたちは、中学生男児5名、高校生2名の7名。今では考えられませんが、7名中5名は、親の顔を一度も見たことがない、親の記憶すらない子どもたちでした。産まれてすぐに乳児院に預けられ、親、家族と一度も会うことなく、児童養護施設に措置され、18歳になるとそのまま社会に出されてしまう子どもたちでした。当時はほとんどのケースがそういう状態であったのですが…。

「俺、親の顔見たことねーし」、「親なんかいらんし」、こういった会話を私によくぶつけてきました。一番心が痛かった言葉は、「俺、たぶん親と一緒にいる夢を見るんやけどなー、顔は無いんよなー」でした。子どもたちは私を慕う反面、自分たちのことをどこまで考えてくれているのか、まだ見ぬ親と私を対照しながら、さまざまな問題を起こすことで試し続けました。まさに『耐え忍ぶ』毎日でした。学校、警察からの連絡、それに対する謝罪は当たり前であり家庭裁判所からも度々よばれる日々でした。よそ様に迷惑、施設に迷惑をかけたということで、子どもと一緒に謝罪することが私の日課にもなっていました。しかし、そんな子どもたちと対峙してもなぜか『怒り』というものはありませんでした。おそらく、「俺、親の顔、見たことねーし！」という言葉が私自身の中でかなり大きかったんだと思います。栄光園に勤務して2年目、担当の子どもA君が大きな問題行動を起こしました。少年院送致が決まり、最後の面会の時、彼は「絶対、迎えに来てよ！」と泣き崩れながら、私の腕を必死で掴んで離しません。迎えにいけるかわからない私は無言のまま、彼と別れました。力強く握り絞めら

あけましておめでとうございます

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。
本年も相変わりませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2016年　正月

社会福祉法人 栄光園　理事長　友永　丈一
児童養護施設 栄光園　施設長　江口　敏一
乳児院 栄光園　施設長　熊谷登喜子
青山保育所　所長　小久保次郎
野口保育所　所長　本庄　智宏
職員一同

れた腕の感触はいまだに消えることがありません。彼は大柄で相撲部に推薦で高校に入りましたが、彼の高校に足をはこんだ回数より私の方が多かったのは、今では笑い話となっています。彼も30歳近くになりました。彼からは「まだ、栄光園で働きよんのー？あんたも好きやなー」と笑われておりますが…。

時代、社会の流れとともに子ども、家族、家庭も大きく変わりました。なにより児童養護施設が創設された方々の理念や思いにたちかえり、心新たに献身的に取り組むことによって、子どもたちが安全・安心・快適な家庭に近い環境で生活できるようになりました。ごくあたりまえに子どもたちが地域の中で生活している施設も増えてきています。一方、児童虐待や貧困問題、さまざまな家庭問題など地域・社会に貢献すべき社会的養育者として専門的な機能を持った施設としての大きな役割を担うことが出来るような変化も求められています。

施設にいる子どもたち、その親御さんもここ十数年で大きく変化してきました。「俺、親の顔みたことねーし」と言っていた子どもたちの時代から、「今度はいつママのお家にお泊りかなー？」、「ママ、また新しい彼ができたんでー！」、「パパとママ、また喧嘩したんやー、外泊ができんくなったー」、「いつお家に戻れるかなー？」など、親子交流が頻繁にあるなか、親や家族の問題に直面しながら施設で生活する子どもたちがほとんどになっています。これからは、子どもと家族をいかにうまく繋げていくか、家族再統合・再構築を含め子どもの支援と同時に親への支援、家族への支援が重要な課題となっています。

15年経ったいまの私にとって、へとへとになりながら走り続け、折り返し地点が見えたことは大きいのですが、折り返してゴールに向かって走り続けることはたやすいことではありません。先駆者たちは、どのような思いで長く続けられたのでしょうか、継承してきたのでしょうか。

ノートルダム清心学園理事長の渡辺和子さんが30代半ばで試練にぶつかったとき、一人の宣教師から短い英紙を手渡されました。「Bloom where God has planted you」（神が植えたところで咲きなさい）。『置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです』と告げたものでした。

「置かれた場所で咲きなさい」、私はその言葉を大切にしながら、また、新しい年のスタートをきることができました。『今年も頑張らねば!!』

児童養護施設 ふれあい登山

児童指導員　大野　将也
東條　岬

栄光園ではたくさんの行事が行われています。11月には、由布市の飯盛ケ城へ登山に行きました。今回は中高生の子どもと小学校高学年の子どもを対象に希望を募り、ふれあい登山を行いました。中高生4名と小学生5名、職員6名の15名が参加しました。

児童の中には登山初挑戦の子もおりました。参加したそれぞれの子どもが期待や緊張等、色々な思いを持ちつつ、由布岳登山口から出発しました。出発時は、笑顔も多く、「紅葉がきれい。」や「この岩おおっきい。」・「見てー、もうこんなに登ったよ。」と赤みを帯びた由布岳の自然に触れ合いながら登山を楽しみました。しかし、徐々に口数が減り、自然を楽しむ余裕がなくなる子どももいました。少しずつグループから遅れる子どもに対し、「もう少しで休憩やから頑張って。」と子どもたち同士が励まし合いながら登っていく姿を見ることができました。

足場の悪い道や急勾配を一歩ずつ進み、無事に山頂に着き、登りきった達成感を子ども・職員共に感じることができました。山頂でお昼休憩を行い、ホームで握ってくれたおにぎりを美味しそうに食べていました。山頂で食べるおにぎりの味は別格でより美味しく感じられました。その後は、美しい光景を眺める子どもや寝転がり、澄んだ空を見渡す子どももおり、子どもたち各々が山頂での一時を楽しみました。また、隣にある由布岳を見て、いつかはこの山に皆で挑戦することを誓いました。

下山の時には急こう配のところも

あり、体を傾け、重心を後ろに下げながら降りていきました。山頂で澄んだ空気をたくさん吸い、美味しいおにぎりを食べて、疲れた体を癒したこともあり、スムーズに下山することが出来ました。無事に怪我なく登山を終えることができました。「楽しかった。また行きたい。」、「今度は違う山に登りたい。」と子どもたちからの声も挙がっていたので、今後も年に1度は登山を行事に取り入れ、栄光園の恒例行事にしていけたらと思います。

クリスマス祝会

保育士　藤本　一明

子どもたちにとって一年で一番大きな行事である2015年度クリスマス祝会が12月19日に開催されました。

第一部の礼拝では、支援者の方の出し物として、賛美歌のプレゼントや一緒にダンスをするなど、子どもたちにとっても、心に残る式典だったのではないかと思います。

第二部祝会の出し物については、子どもたちはこの日のために11月からほぼ毎日のように遊ぶ時間も削り、うまくできないことに悔しい思いをすることや、上達していくことの喜びを自身で感じながら練習に励んでまいりました。職員も子どもたちの支えとなるよう時には厳しく、時には優しく、共に手をとって企画し練習を行いました。今年度は児童会から、中高生も出し物がしたいという声が挙がり、中高生もショートムービーとして「おもしろ動画」と「パラパラ漫画」の撮影を部活動などの合間を縫って行い、どの出し物も成功したのではないかと感じました。幼稚園児から小学6年生までの全員が参加した聖劇では、緊張した面持ちでしっかりと自分の台詞をいい、子どもたちにとっても、よい経験であり、改めてイエス様の誕生を祝うことができたのではないでしょうか。

ここでも支援者の方々からチェロの四重奏の生演奏をしていただき、子どもたちは、あまり見慣れない楽器に興味を持って鑑賞できたようでした。また、プロのアナウンサーの方々の朗読を聞き、音楽にあわせて進む物語に、子どもたちは引き込まれ、心を躍らせていたようでした。

私は当園に勤めさせていただき、今年で9年目になりますが、初めて一部と二部で司会をしました。今までは裏方で、子どもの着替えを促したり、舞台袖で物の出し入れなどをしていました。今回初めて客観的に子どもたちの出し物を見て、子どもたちの頑張りがしっかりとこのクリスマス祝会に現れているように感じ、司会をしている立場ではありますが、目頭が熱くなる場面もありました。保護者の方や、支援者の方に急遽、感想をいただくこともありましたが、頑張っている子どもたちに、とても温かい言葉をかけていただき嬉しく思いました。

食事会である第三部では、保護者の方や支援者の方々も参加してくださり、また多くの寄付をいただき、楽しく食事をすることができました。そのなかで上映された5つのホームのユニットごとのスライドショーでは、様々な行事の写真や生活風景の写真があり、どの写真も笑顔に満ち溢れており、様々な背景を抱えているということを忘れてしまうほど、幸せそうな表情をしていました。それを観て、また思い出を振り返ることができ、とてもよい時間になったのではないでしょうか。

子どもたちはこのクリスマス祝会を通して、ひとつの目標に向け「努力」をすることの大変さと素晴らしさを、そして無事に発表ができたことの「達成感」を得ることができ、たくさんの保護者や支援者の方々に支えられていることを知ることができたのではないかと思います。その気持ちを忘れずに、また明日からの日々を一生懸命頑張ってほしいです。

来園していただいた多くの方々、誠にありがとうございました。これからもどうぞ、よろしくお願い致します。

「餅つき」調理勤務という立場から

マツモトホーム　ホーム長　竹原　史雅

先日、別府陸上自衛隊、ライオンズ・ライオネスクラブの方々による餅つき奉仕が開催されました。子どもたちの朝食時間から自衛隊やライオンズ・ライオネスクラブの方々が来園され、会場設営が進んで行きます。その間、炊事場では栄養士に指示を受けながら、調理勤務者が中心となり、昼食準備を進め、餅つきが開始されます。例年、私は子どもたちを見守りながら餅つきを一緒に楽しんでいました。今年は調理勤務という立場から普段は養育の視点で子どもたちと接していますが、客観的に接することで、子どもたちの他に職員や来園者の動きも観察することが出来たと思います

調理勤務という立場になって1つの行事を見守るという視点はあまり体験したことが無かったのですが、子どもたちが一生懸命ついた餅をライオネスの方々と丸め、餅を並べることの繰り返しの中でも餅の丸め方やあんこの包み方はとても勉強になりました。今回の良い経験を今後の糧にしていけたらと思います。その後、自衛隊の出し物・吹奏楽、昼食で楽しいひとときが終了しました。

乳児院

宮参り

保育士　山口　三穂

11月6日好天の中、朝見神社へ宮参りに行きました。様々な事情で宮参りの済んでいない子どもは、院長と担当職員とでお参りにいきます。

境内に着き、手水で清めたあとお賽銭を入れて参拝し、かわいらしい着物をかけて記念写真を撮りました。子どもたちも感じるのでしょうか、いつもよりすまし顔をしていました。

それからに赤ちゃんの健やかな成長と将来を祈願する祈祷をあげていただきました。

職員と一緒に祈祷を聞いている子どもたちを見ながら、私たちも改めて子どもたちの健康と幸せを願わずにはいられませんでした。

初めての祝会

看護師　福本　有輝

12月19日、待ちに待ったクリスマス祝会です。この日のために1ヶ月も前から、皆の大好きなテレビの「いないいないばぁ」の中の「わ～ぉ」のダンスをぞう組のお友だちと一緒に楽しく練習し、当日のために何回もホールでリハーサルをしてきました。そのかいもあってか、本番では完璧ではありませんでしたが、子どもたちは誰一人泣いたりすること無く、可愛い衣装で、踊りは最後まで無事に踊りきる事が出来ました。招待客も大喜びでしたが、一番嬉しく感激したのが私たち職員でした。

子どもたちもとても緊張していましたが、とても可愛い演技が出来、良い思い出になるのではと思いました。

お餅つき

保育士　後藤　晶子

テラスから「ペッタン、ペッタン」と威勢のよい音が聞こえてきました。今日はお餅つき、みんなでお正月の準備です。興味津々に食い入るように見る子、音に合わせ手拍子する子と様々でしたが、いざ杵を持つとあまりの重さに子どもたちはビックリ!! 保育者と一緒に杵を持ち、息を合わせて餅つきです。自分の番が来るのが待ちどうしく、次は自分だと意気込んでいました。

さぁ!! おもちがつき上がったらエプロンを着てお餅まるめです。温かくて柔らかい感触に子どもたちは大興奮。叩いたり、伸ばしたり、食べたりと身体中真っ白になりながら奮闘しました。まだまだ丸めることはできませんが、楽しくお餅つきができ、みんなで新しい年を迎えます。

新年も笑顔溢れるよい一年になりますように。

青山保育所

バスに乗って

ぱんだ組の2歳児のお友だちは3歳以上のお友だちと一緒にバス遠足に行

きました。子どもたちは何日も前から「きょうバスのる？」「きょうこうえんいく？」と楽しみにしていましたが、ようやく当日になり、バスを見ると大喜びでした！バスの中でも目を輝かせながら外の景色を見たり、歌を歌ったりしてあっという間に目的地の杵築市海浜夢公園へ。大きな遊具にまたまた大興奮！大型遊具の中にあるいろいろな滑り台や、ネット、のぼり棒などなどそれぞれが気に入った遊びに挑戦し、何度も繰り返し遊ぶ姿がありました。

そしてもう一つのお楽しみはお家の人が作ってくれたお弁当ですよね！楽しそうに遊具で遊んでいても「お弁当食べるよ！」というと一目散に鞄の所へ向かう姿がとても微笑ましく、やはり一番はお弁当だなと思いました。バスの中からお腹がすいたといっていた子どもたちはモリモリと食べていましたよ。お家の方の愛情たっぷり弁当は格別のようでした。その後のおやつも楽しみの一つのようで嬉しそうに食べていました。中にはお友だちと交換する姿もあり微笑ましかったです。

子どもたちにとってバス遠足は大満足の一日となったようでした。この日のような満足感を味わえる経験をこれからも普段の保育の中でもたくさんしていければと思いました。

秋の果物の思い出

きりん組ではおやつに秋の果物が出るときに、保育士と給食の先生が一緒に皮むきをする様子を子どもたちに見てもらうようにしています。あるときはどっちが早く皮をむきおわるかな。あるときはどっちが皮を長くむけるかなという風に子どもたちにどうやったら見やすいかなと考えて対決形式にしてみました。子どもたちの中でも給食の先生を応援したり、きりん組の保育士を応援したりと別れて応援合戦が始まります。対決が終わって果物を食べたり、むかれた皮をみんなで回して見て、匂いを嗅いだり手触りを確かめたりしました。

今回このようにしたのは私が小さいときに母や祖母から果物の皮をむいてもらって食べていて、皮をむいた果物を片っ端から食べていた楽しい記憶が自分の中にあり、保育園でもその楽しさを感じてもらいたいなと思ったからです。

現在「食育」が大切であると色んな所で叫ばれています。さまざまな方法があると思いますが、自分が小さいときにしてもらって楽しかったことを、子どもたち世代にしてあげることもその方法ではないかと思っています。お家で一家団欒のときには、お父さんや、お母さんにむいてもらってみんなで食べる楽しい機会を作ってもらえたらなと思っています。

かぶとむしのようちゅう

ぞう組では、カブトムシの飼育をしているのですが、なんと今年は卵から無事25匹幼虫に成長しました。卵が少しずつ大きくなり、幼虫になり、その幼虫も日々大きくなっていく様子に子どもたちは興味深々で不思議そうに毎日観察していました。うさぎ組の横にある花壇でカブトムシの幼虫を大量に飼育できるように腐葉土を入れて作ってみました！子どもたちと一緒に腐葉土と幼虫を入れると大喜びでしたよ♪身近な生き物で子どもたちの大好きなカブトムシをみんなでお世話していき、成長していく様子を間近に見ることで、生き物に興味関心を持ち、卵→幼虫→さなぎ→成虫と生長していく姿に生命の不思議さを感じ豊かな心が育ってほしいと思っています。無事に成虫まで育ちますように!!

オリジナル☆アクセサリー作り

突然ですが、みなさんは「じゅずだま」を見つけたり、じゅずだまを使って遊んだりしたことがあるでしょうか？きりん組のお友だちも河原へお散歩へ行った時に水辺の近くで見つけることができました。今回はこの「じゅずだま」を使ったアクセサリー作りを紹介したいと思います！

まず集めたじゅずだまを一つ一つ丁寧に茎から取り外します。次に針と糸を使い、じゅずだまの下から針を突き刺し、どんどん繋げていきます。

長く繋げてネックレスにしたり、ブレスレットにしたりと様々な物が作れます。私も小学生の頃、山ほどじゅずだまを集めてネックレス作りに熱中しました！じゅずだまの間にカラフルなビーズを挟んでも可愛い物が作れそうですね！もし河原などでじゅずだまを見つけた際はお子さんと一緒にオリジナルのアクセサリー作りをしてみてはいかがでしょうか？

おやつはホットケーキ

うさぎ組では3時のおやつに、給食の先生がホットプレートを使い、子どもたちの前でホットケーキを焼いてくれました。焼く前のホットケーキの生地を見たり、「何ができるのかな？」と給食の先生が生地を焼くのを、期待いっぱいのまなざしで、見たりしていました。良い香りがただよう保育室で、焼きたてのホットケーキを、おいしそうにほおばりました。普段から、よく食べる子どもたちですが、この日はいつも以上においしく、そして楽しく食べることが出来ました。これからも、おいしく楽しい食育を目指したいと思います。

お家でも、お子さんと一緒にホットケーキ作り、してみてはいかがですか？

野口保育所

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いします。

昨年の秋から冬にかけての行事を、少しずつですがご紹介したいと思います。

親子バス遠足

食育の一環として6月に3・4・5歳児と一緒に農業文化公園にて芋の苗植えをしてから4ヶ月…。

親子や友だちと一緒に大型バスに乗って芋ほりに行きました。大きいバスにも大興奮の子どもたちでした。公園に着いてからは、0歳児の小さな園児は旗を持って芋ほりの応援をしたり、1歳～5歳児の子どもたちは芋ほりを経験し、手や顔を真っ黒にしながら楽しんでいました。

今年は立派なお芋が多く、量も豊作で掘りごたえがありました。その後は公園で遊んだりお弁当を食べたりと天気にも恵まれ楽しい一日になりました。

保育参観

今年度は1週間の参観日週間を設けての第2回目でした。自分だけではなく、お友だちのおうちの方が毎日入れ替わりくることを楽しみにしている子どもも多く1週間テンションがあがってしまう子どもも多いですが、保護者の方は保育内容も選ぶことができ、一緒に散歩に参加する日もあったりと日頃の子どもの様子が見れて楽しむことが出来たようです。

お仕事で忙しい保護者の方に保育園でどのようにわが子が過ごしているのかを少しでも見てもらえるのが一番うれしいです。

もちつき

毎年恒例の「餅つき」…今年もお父さんが手伝いに来てくれました。大きいクラスの子どもは前日にもち米をといで準備をしたり、当日はお友だちやお父さんたちとお餅を搗いたり、「ぺったんこ～ぺったんこ～お餅を搗きましょ～ぺったんこ～♪お父さん頑張れ～」と歌ったり応援したり大忙しでした。

お餅をたくさんまるめたり、食べたり…昔ながらの伝統ある餅つきを子どもたちと経験することが出来て、またひとつ楽しい思い出が残りました。

クリスマス会

子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会！保育室や廊下・窓に飾られたクリスマス一色の雰囲気に子どもたちは毎日ルンルンでした。会では、保育士の劇を見たりクリスマスソングを歌ったり…毎年違ったクリスマス会に子どもたちは、次は何をするのかな？と目を輝かせていました。

全クラスで集まってシャンメリーで乾杯し、クリスマスランチをたくさん食べ

たりして、楽しいクリスマスを堪能した子どもたちでした。おやつの時にかわいい5歳児のサンタクロースたちがみんなにクリスマスプレゼントも配ってくれ、今回のクリスマス会も…大成功!!

大分県主任・主幹教諭の研修を受講して

主任保育士　工藤　直子

昨年の10月に「主任・主幹教諭研修」に参加しました。新制度に代わり、色々なことが変わっていく中で保育園選びも厳しくなってきているようです。

色々な保育内容をもった保育園がたくさんあります。でも本当に大切なことは、やはり職員の質であるとおっしゃっていました。その質も、一人ひとりの経験の積み重ねや研修をたくさん受けて向上することも一つだが、職員全員が一つになり、子どもたちのことに対して、みんなで共有していくことが大切ということを学びました。職員が一つになることを「同僚性を高める」として、ただ一緒に働いているだけが同僚性ではなく、一人ひとりが意見を交わし子ども一人ひとりのことを全員で共有するために話合いを持ち、上・下・若・老関係なくみんなが雑談のように話す方が意見がたくさんでるなど、工夫しながら同僚性を高めていかないといけないということを学びました。職員が集まっただの集団にならずに、同僚性を高められる職員の集団になっていきたいと心から感じました。子どもたちのことを思い、私たち職員も日々頑張っていかなければならないと研修に参加し学びました。

今年度も残り少なくなり1年を締めくくる行事がまだまだ控えていますが、子ども一人ひとりとしっかり触れ合い、子どもたちが毎日楽しく過ごせるように職員全員で頑張っていきたいと思います。

本年もよろしくお願いします。

所長　本庄　智宏
職員一同

「あなたがわが民イスラエルの指導者となる。」

歴代誌上11章2節　青山保育所　小久保　次郎

サウル王の死後、すべてのイスラエル人がヘブロンにいたダビデのもとに集まります。『わが民イスラエルを牧するのはあなただ。あなたがわが民イスラエルの指導者となる』と神が言われた。」とイスラエル人たちは、ダビデに語ります。長老たちは、ダビデに油を注ぎ、イスラエルの王とします。ここから新しいイスラエルの歩みが始まります。神が共におられるという事実のもとに王としてダビデがたてられたのです。アメリカ合衆国大統領就任式の宣誓では聖書に手をおいて、その宣誓がなされます。神共にいますという信仰の宣言でもあります。人の上に立つ王としてのダビデは、必ずしも人間的に完璧であったわけではありません。そもそも人に与えられた「完璧な」という表現自体、人それぞれの受け止め方、観方があり、相対的な尺度でしかありません。ただ神のみが完璧、完全な存在であります。故にこそ、神が共におられるということが、完全を志向できる保障、担保となるのです。ダビデ王は、神の命じられるままに歩み、国づくりに励みました。その先には幾多の困難が待っていました。ひとつづつダビデは、それを乗り越え、解決し、ダビデに従う人々と共にその歩みを続けました。ダビデ王自身、何故自分が神によって選ばれたのか不思議でなりませんでした。17章16節には『何故、わたしを、わたしの家などを、ここまでお導きくださったのですか。』と神に尋ねています。ダビデの正直な思いが伝わってきます。実に私たちの人生も不思議な導きで、今まで歩んでいます。昔、私は学校で歴史と訳される英語ヒストリーは「神の物語」の意味であると教えられました。人生という自分の歴史は、自分に介在なさった神の物語の実現化ということになります。神という方は実に不思議な方です。何故、自分が選ばれたのか、今の自分の働き、置かれた場所の意味は神が決められたのです。いくら私たちが考えようとも、思わなかった道へと神は私たちを導き、歩ませてくださるのです。天と地を創られた神だからこそ、できるのです。神の力こそ勇気を私たちにあたえます。『存在への勇気』を神は恵みをもって私たちに与えてくださいます。

社会福祉法人　栄光園
2015年度 10～12月職員の動静

採用

- 10月1日付　乳児院　前原　彩（保育士）
- 12月3日付　乳児院　高田　恵子（保育補助）
- 12月14日付　乳児院　梶原　恵子（保育士）
- 12月31日付　青山保育所　竹上　有美（保育士）
- 児童養護施設　得能　美弥（事務主任）

退職

【訂正とお詫び】
前号（101号）にて、ご支援者の「自立進学資金」に掲載のお名前が阿部薫様となっていましたが、正しくは阿部董様です。訂正してお詫び申し上げます。

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌『栄光園だより』を送付させていただきます。

苦情等相談窓口

＊法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。

tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

前回より、児童養護施設の子どもたちの卒園後の進学等を重点的に支援する目的で『栄光園ファミリークラブ』の枠を設けました。上級学校への進学は社会で活躍できる領域を格段に広げる重要なアフターケアだと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

本年も皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。

2015年 賛助金

【2015年10月1日より2015年12月31日まで】

安達 祥子様　別府市
安部 保様　別府市
新江 基二様　横浜市
飯田 法子様　佐伯市
池上 勇人様　大分市
伊勢 方信様　別府市
伊藤恵美子様　堺市
伊藤和子様　箕面市
鎌田 宏子様　大分市
荻野 克彦様　横須賀市
宇戸 陽子様　別府市
辛島 洋子様　別府市
木村 智之様　大分市
(有)コーワ精起様　東京都
貞閑 孝也様　大分市
佐保会大分支部様　別府市
袖澗三枝子様　中津市
平野八郎・紀美代様　大分市
福田美代子様　別府市
別府不老町教会婦人部様　別府市
帆足 宗次様　玖珠郡
帆足 隆哉様　日田市
堀田 直様　宮崎市
増田 百枝様　別府市
南 範子様　別府市
宮沢 淑子様　大分市
宮本 妙子様　中津市
矢永 尚志様　別府市
山口産業㈱様　別府市

2015年 一般寄付

飯田 法子様　佐伯市
いとう循環器麻酔科クリニック様　別府市
伊藤鮮魚店様　別府市
井上せつ子様　別府市
岩田 哲也様　大分市
匿名様　別府市
大分銀行労働組合様　大分市
大宮遊戯場組合様　別府市
奥川 芳子様　さいたま市
亀井 浩様　別府市
吉良 頌三様　別府市
Kヘアー様　大分市
河野 聡美様　大分市
佐藤産婦人科医院様　豊後大野市
三栄建設工業様　大分市
ジャックデッドワイラー様　米国
税理士法人プロパートナー様　大分市
ちはらコーポレーション様　別府市
クリスチャンフェロシップ様　大分市
時枝喜久生様　別府市
匿名様　別府市
匿名様　別府市
匿名様　別府市
友永 丈一様　別府市
西日本新聞様　福岡県
日本競輪選手会大分支部様　別府市
橋迫 民子様　臼杵市
濱田セツ子様　大分市
平野八郎・紀美代様　別府市
別府のサンタ様　別府市
別府溝部学園短期大学幼児教育学科様　別府市
細井 勇様　北九州市
松本 重孝様　別府市
丸山 秀祐様　別府市
南石垣支援学校高橋俊二様　別府市
南立石地区社会福祉協議会様　別府市
森脇 直樹様　別府市
(有)工房輪葉葉様　別府市

2015年 自立進学資金

安東 秀典様　大分市
市原 幹生様　大分市
金谷 正明様　大分市
神鳥 慶子様　大分市
大野将也・薫様　杵築市
波多野 慶子様　大分市
村瀬 久美子様　別府市

2015年 改築寄付

別府不老町教会様　別府市

2015年 物品寄付

玩具・クリスマスケーキ等　安部純子様
ケーキ等　安東秀典様
お餅　居酒屋しょうや様
ヴィーナスギャラリー別府店様
ミカン　上杉敬三様
お米　筌口成男様
ミカン　梅田健一郎様
お米　エスケイ(有)様
ポンカン　エトウ商店様
お菓子　(株)大分観光サービス様
ナシ　大分県梨研究会様
運動着・靴・ボール等　大分県スポーツ用品協働組合様
お米　大分県農業協働組合様
書籍　大川原美樹様
アレンジフラワー　亀井浩様
カレンダー　九州アフリカ・ライオンサファリ(株)様
クリスマスプレゼント　釘宮英子様
飲料水　工藤行大様
衣類・玩具・クリスマスケーキ等　工藤智美様
衣類等　河野国弘様
お菓子　三栄建設工業(株)様
書籍・玩具等　志手宅久様
お菓子・カレンダー等　ジャックデッドワイラー様
クリスマスプレゼント　(株)ジェムス様
タオル等　白石史子様
リンゴ　杉町圭蔵・千穂子様
家具・衣類等　隅田勝則様
お菓子　ダイヤモンドやまなみ店様
衣類等　武田寿・みち子様
玩具等　竹長イツ子様
クリスマスプレゼント　TAMIYA(株)様
クリスマスケーキ　(有)TN保険ひろば様
お菓子　クリスチャンフェロシップ　匿名様
野菜等　豊田緑化様
お芋等　中村耕吉様
衣類等　中村里子様
洗剤・文具等　中村昌代様
衣類　南光物産(株)様
お菓子等　二宮洋典様
野菜等　日本鏡餅組合様
鏡餅　日本競輪選手会大分支部様
お菓子　(財)日本花の会様
野菜等　野間由季子様
お菓子　ハーティストクラブ板井由香様
肉マン　(有)はしふく様
祝箸　ぶどうの丘角脇博分様
ブドウ　(株)プレナスほっともっと様
映画DVD　別府まつり振興会様
別府冬祭り食券

お餅つき用食品・お菓子・果物等　別府ライオンズクラブ様
別府ラオネネスクラブ様
書籍　豊和銀行様
クリスマスカード　門司一徹様
ミカン・玩具等　山口香様
パウンドケーキ　吉田ジョアン様
お菓子　楽天(株)様
クリスマスプレゼント　若杉裕二様
カレー用食器等　陸上自衛隊別府駐屯地様
食品　渡辺貞夫様
秋刀魚

2015年 招待・奉仕

小中学習ボランティア　安東秀典様
お餅つき招待　井上せつ子様
七五三着付け　居酒屋しょうや様
クリスマスイルミネーション点灯式　エッチ美容室様
七五三写真撮影　(株)おおいた観光サービス様
児童の散髪　木村写真場様
クリスマス礼拝賛美　Kヘアー様
クリスマス祝会チェロ演奏　フナキカイツウ様
大分チェロ軍団白沢史子様
力士訪問　河野聡美様
お餅付き　別府中央ライオンズクラブ(株)TAMATA様
別府中央ライオネスクラブ様
カボチャプリン・餃子作り　ムジャキフーズ様
お餅付・音楽演奏　陸上自衛隊別府駐屯地様

編集後記

秋から暮れにかけての最大の喜びはクリスマス祝会です。歳の瀬の大変ご多忙な時間を割いて支援していただいている多くの方々、卒園生、そして、子どもたちの家族の方々にご来訪いただき感謝でした。ひと月前より夕食後、工夫と練習を重ねた子どもたちの出し物は職員にとっても目がしらが熱くなるプログラムが続きました。この一年間も子どもたちの成長と「子育て」という言葉に象徴されるように「子どもたちが私たち職員を確実に育てていただいている」ことを実感したひと時でした。（敏）